

羽越だより

《第423号》

令和8年7月27日

村上市立保内小学校で

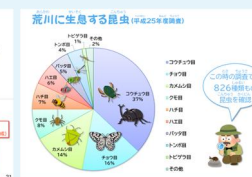
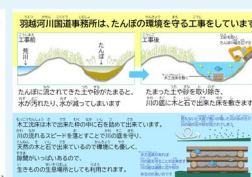
6月17日(水)

担当:調査課

出前講座『荒川を知ろう』を行いました



毎年、近隣の小学生に向けて行う出前講座で、保内小学校4年生47名の皆さんに「荒川を知ろう」をテーマに授業を行いました。荒川の源流である大朝日岳や、上・中・下流の様子、荒川の由来、生息する生き物に加え、羽越水害を機に大きくなった堤防と2つのダム建設、絶滅危惧種のトミヨを守る「たんぽ」の保全工事などの羽越河川国道事務所の役割にも触れつつ約1時間をかけて「荒川」を学んでもらいました。残った時間で事前にいただいていた質問に回答しましたが、答えられなかったものを下記に掲載します。



「荒川を知ろう」(全62頁)

7月16日に予定していた水生生物調査は天候不良のため中止になりました。

Q. 荒川を管理しているのは誰？

A. 山形県内は山形県、県境から丸山大橋までは新潟県、丸山大橋から河口までは国（羽越河川国道事務所）が管理をしています。

Q. 橋は全部で何個あるの？

A. 電車が走る鉄橋（JRが管理）を除いて荒川本川だけで32個の橋があります。新潟県内には上流から順に下記の14個の橋があります。

- | | |
|---------|---------|
| ①前瀬橋 | ⑧温泉橋 |
| ②金丸大橋 | ⑨小見橋 |
| ③ハツ口橋 | ⑩高田橋 |
| ④ハツ口大橋 | ⑪磐梯朝日大橋 |
| ⑤間出橋 | ⑫荒川橋 |
| ⑥鷹の巣吊り橋 | ⑬新荒川橋 |
| ⑦丸山大橋 | ⑭旭橋 |

Q. 川の幅は何メートルくらいあるの？

A. 場所によって違います。大朝日岳の源流部はちょろちょろと流れる小川なので川幅は狭く水深も浅いので歩いて渡れますが、標高が約1,000mの場所にあるので簡単には行けません。河口に1番近い国道345号の旭橋は橋の長さが505mあり、川幅は約500mです。川幅は近くに架かる橋の長さがヒントになります。また、晴れの日と雨の日では流れる水の量が違うので同じ場所でも見た目の川幅に大きな差があります。危険の無い範囲で天気によって変わる川幅を見比べてみてください。



※川幅は流れる水の幅ではなく、堤防と堤防の間の長さです。堤防が無い場所は洪水などで水位が高くなった時に流れる水の幅です。

発行およびお問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1

TEL: 0254-62-3211 (代表) URL⇒<https://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>

FAX: 0254-62-1106 (代表) X⇒https://x.com/mlit_uetsu

ホームページ



X

